

■岐阜赤十字訪問看護ステーションを紹介します。

岐阜赤十字訪問看護ステーションは、地域の医療・保健・福祉に特化した在宅サービス事業所として、平成30年10月に開設しました。

病気や障害などがある人も、人としての尊厳を保ちながら、その人らしく生き生きと生活が送れるように支援することを理念とし、訪問看護師5人で運営しています。

かかりつけ医の先生とも連携を図りながら、安心した日常生活が送れるように支援させていただきます。



訪問看護ってなにをするの？

健康状態の観察	体温・脈拍・血圧・呼吸などの測定、異常の早期発見
日常生活の看護	清潔のケア、食生活の援助、排泄のケア、寝たきり・床ずれ予防のケア、服薬管理
医学的処置や管理	医師の指示による医療処置 点滴・注射・吸引・カテーテル類の管理、胃ろう・人工肛門などの管理、床ずれやその他の創部の処置 在宅酸素の管理
在宅リハビリテーション	体位変換・関節などの運動、自宅の状況に合わせた日常生活訓練
介護支援・相談	健康管理、介護・日常生活に関する相談、精神的支援

訪問看護ステーションってどこにあるの？

場 所	岐阜赤十字病院 東館3階
電話番号	058-231-2266(代表) 058-232-1370(ステーション直通)
F A X	058-232-1371
営業時間	月曜日～金曜日 8:45～17:20 土日・祝祭日・年末年始・創立記念日(5/1)はお休み

岐阜赤十字病院
〒502-8511 岐阜市岩倉町 3-36
☎058-231-2266(代表)

赤十字講習会のご案内 [令和2年10月～11月版]

講習の種類	開催日	会場
こころとこころの架け橋講習(短期)	10月8日(木)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと 4階 会議室
地域で支える認知症(短期)	10月6日(火)	岐阜赤十字病院 南館2階 講堂
	10月15日(木)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと 4階 会議室
すくすく子育てサポート講習(短期)	10月17日(土)※	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
	11月14日(土)	

※災害時、要援護者である乳幼児支援について学びます。
・講習の一部を掲載しています。詳細及び申込方法は、日本赤十字社岐阜県支部ホームページをご覧ください。
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる可能性があります。
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、短期講習は、時間を短縮して行う場合がございます。
・詳しい内容については、事業推進課までお問い合わせください。

義援金・救済金の受付状況 (令和2年8月31日現在)

義援金名	受付期間	受付金額
東日本大震災義援金	平成23年 3月14日～令和3年3月31日	2,095,231,038
平成28年熊本地震災害義援金	平成28年 4月15日～令和3年3月31日	205,203,714
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	平成29年 7月 7日～令和3年3月31日	16,747,025
平成30年7月豪雨災害義援金(広域)	平成30年 7月10日～令和3年6月30日	22,376,675
令和元年8月豪雨災害義援金 ※終了	令和元年 9月 2日～令和2年8月31日	815,585
令和元年台風第15号千葉県災害義援金 ※終了	令和元年 9月18日～令和2年6月30日	1,941,708
令和元年台風第19号災害義援金	令和元年10月16日～令和3年3月31日	53,429,063
令和2年7月豪雨災害義援金(広域)	令和2年 7月 7日～令和2年12月28日	2,162,119
令和2年7月豪雨災害義援金(県内)	令和2年 7月14日～令和2年9月30日	27,927,473
中東人道危機救済金	平成27年 4月 1日～令和3年3月31日	183,962
バングラデシュ南部避難民救済金	平成29年 9月22日～令和3年3月31日	196,149

※義援金・救済金については、受付開始から令和2年8月31日入金分までの合計となっています。

Red Cross Gifu

赤十字だより ぎふ

vol.52

発行日
令和2年10月1日

編集・発行

日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市西部中島2-9
TEL (058)-272-3561
http://www.gifu.jrc.or.jp/



赤十字の活動は、皆様からの社資で支えられています。

パレスチナ赤新月社医療協力事業に参加しました

日本赤十字社は、災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、世界の様々な国や地域への支援活動に取り組んでいます。その一つとして、パレスチナ赤新月社の要請に基づき、レバノン国内の病院の医療技術支援として高山赤十字病院の馬場 淳看護師が参加しました。



多傷病者受け入れ訓練時の様子(中央 馬場看護師)

地元を守るパレスチナ赤新月社の人々と



レバノン共和国では50万人を超えるといわれるパレスチナ難民の方々が政治的、経済的、物理的に非常に厳しい環境下に置かれています。今回、パレスチナ赤新月社のスタッフと共に現地の病院にて、私達の持っている知識や技術を彼らの文化の中に取り入れてもらう事を目的としたプロジェクトに取り組みました。

現地では、診療録(カルテ)や患者の緊急度に合わせて診療の順番を変えるトリアージなどは未だ備わっていません。戦乱により、社会的・資金的支援が十分に確保されなかった難民キャンプ内の病院では診療体制の振り返りがされず、診療は来た順番、カルテもない、診療のフォローもままならないのが現状です。そのような状況を改善すべく活動しました。しかし、新しい事を取り入れるという事は一種の“変革”であり、文化の異なる人達にとって非常に強い抵抗を伴いました。患者さんからは、「先に来たのに、なんで私を先に診療しないの!?!」、医療スタッフからも「カルテナ

んで時間の取られるものは書けない」などの声があがりましたが、技術の重要性を説明し、協議を重ねていくことで、同じ「人道」の想いでつながっている赤十字・赤新月社のスタッフ同士、想いは伝わり、徐々に事業にも進捗が見られています。活動中、新型コロナウイルスが世界的に流行し、任期終盤は当初の計画に一部変更を加え感染予防対策を試みました。今もパレスチナ赤新月社のスタッフが感染の流行を抑えるべく奔走しています。

自らの生活が苦しい中で、パレスチナ人というアイデンティティを守るべく奔走している彼らに敬意を表しながら、流行の一刻も早い収束を願いたいと思います。

高山赤十字病院
看護師 馬場 淳

CONTENTS

■ 赤十字活動資金の使い道	2
■ 岐阜赤十字訪問看護ステーションを紹介します	4
■ 赤十字講習会のご案内(10月～11月分)	4
■ 義援金・救済金の受付状況	4

そつたのわ!! 赤十字活動資金の使い道

皆さまからのご寄付は、ここで紹介する「災害救護活動」をはじめ、苦しむ人を救う様々な活動に大切にに使わせていただいています。



1



2

3

皆さまからの
ご寄付 (赤十字活動資金)

日本赤十字社
ご寄付が届きます

平時の備え

災害時に迅速に対応するため、災害救護訓練、資機材の整備、ボランティア育成等を行っています。



災害救護訓練
被災地で迅速に医療救護活動を展開するため様々な災害を想定した訓練を実施。



ボランティア育成
災害時はもちろん、日頃から地域・学校で活躍するボランティアを育成します。

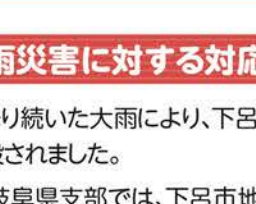
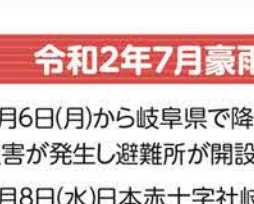


日頃やっていないことは、いざという時にできない。

少しでも体を休めていたがために。



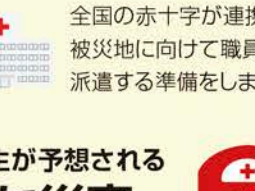
救援物資の配布



被災地で行う活動 1

被災地で行う活動 2

被災地で行う活動 3



医療救護
被災地の医療ニーズに合わせ、救護所の設置や巡回診療を行います。

こころのケア
災害はここにも大きな傷を残します。少しでもこころが休まるよう寄り添います。

血液製剤の供給
全国の血液センターが連携し、災害時も必要な血液を安定的に供給します。

地域防災力の向上
地域の自助・共助の力を高めるため、いのちを守る知識と技術を伝えるセミナーを実施しています。

子どもたちへの防災教育
未来を担う子どもたちへ、自然災害の正しい知識と、自ら考え生き抜く力を。

準備完了!

ボランティアと共に必要な物資を準備

全国の赤十字が連携し、被災地に向けて職員を派遣する準備をします。

今後、発生が予想される様々な災害に備えるためにも...

赤十字活動資金にあたたかいご協力をお願いします

被災地へ出発

被災地での活動

5 未来へつなげる

過去の災害救護で培った経験を忘れずに、未来へつないでいきます。

きげんはっけん!



子どもたちへの防災教育
未来を担う子どもたちへ、自然災害の正しい知識と、自ら考え生き抜く力を。

■ 災害が発生したときに赤十字が受け付ける「義援金・救援金」は、全額被災者の方々へお届けしています。

必要な血液を安定的に供給するために

新型コロナウイルス感染症の予防対策が継続される中、献血バスを配車いただける企業様・団体様が例年と比べ少なくなっています。このコロナ禍の状況におきましても、患者様に輸血用血液をお届けするためには、全国で毎日約13,000人の方の献血へのご協力が必要となります。赤十字血液センターでは、献血の受入に際し、業務に従事する職員の体温測定等健康管理を徹底し、来場者の皆様に体温測定、手指消毒をお願いするなどの感染防止対策を講じております。医療機関に安定的に血液をお届けするため、献血バスの配車にご協力いただける企業様・団体様がございましたら、ぜひ岐阜県赤十字血液センターまでご連絡ください。

新型コロナウイルスの影響で、献血実施が困難な会場が相次いでいます。

献血にご協力いただける企業様・団体様、大募集!!



岐阜県赤十字血液センター
〒500-8269 岐阜市西部中島 2-10
☎ 058-272-6911(代表)

防災教育への一助として青少年赤十字マーク入りテントを贈呈

皆様からいただいた寄付金を財源として、令和元年度に青少年赤十字に新規加盟した小中学校、高等学校、特別支援学校など50校へ、防災や熱中症対策、学校行事に活用していただけるワンタッチテントを贈呈しました。7月20日(月)に新規加盟校を代表して、中津川市立南小学校において贈呈式を行いました。



災害に備えて災害救援車両を配備

8月26日(水)に日本赤十字社岐阜県支部において、災害救援車両の引き渡し式を行い4市町(大垣市、中津川市、山県市、北方町)に配備しました。災害救援車両とは、災害時での救援物資の輸送をはじめ、災害救護業務に使用するほか、平時においては、福祉活動等の赤十字活動に利用されております。この車両も、皆様からいただいた寄付金を基に整備しております。



令和2年7月豪雨災害に対する対応

7月6日(月)から岐阜県で降り続いた大雨により、下呂地域等で災害が発生し避難所が開設されました。7月8日(水)日本赤十字社岐阜県支部では、下呂市地区を通じて下呂市の被災者へ毛布260枚と安眠セット45セットを配布しました。7月9日(木)には、さらなる大雨災害に備え、下呂市立小坂中学校体育館に開設されている避難所の調査を行いました。



日本赤十字社岐阜県支部評議員会を文書審議にて実施

令和2年度日本赤十字社岐阜県支部第1回評議員会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため文書審議にて実施し、県内赤十字4施設の令和元年度事業・決算並びに役員を選出について7月10日(金)に承認されました。

令和元年度 日本赤十字社岐阜県支部決算報告 (千円)

国際活動	2,342
災害救護や災害への備え	36,432
救急法等講習普及	13,380
奉仕団や青少年赤十字の活動	38,211
赤十字思想の普及等	47,018
市町村の赤十字活動	49,064
赤十字病院や血液センターの施設整備	14,711
救護看護師の育成	9,171
広域の赤十字活動	41,725
赤十字活動の運営管理	51,837
合計	303,891